

今回から認知症をシリーズで紹介します。今月は、将来の認知症高齢者数と認知症の原因についてです。

知識を増やし、今後の生活に活かしたり、地域で支え合いましょう。



いつまでも元気で長生きを

No.13

おたっしゃ本舗

今月の福祉

多久市地域包括支援センター（おたっしゃ本舗多久）は高齢者のみなさんが、住み慣れた多久市でいつまでも元気で安心して暮らしていけるように高齢者の生活をあらゆる面から応援する総合相談機関です。

生活の中で「困ったなあ」「どうしよう」と思うことがあったら、まずご相談ください。

多久市地域包括支援センター
（多久市役所 福祉課内）

☎ 75-6033

認知症を知ろう!



平均寿命が年々伸びていく日本は、本格的な高齢社会に突入しています。

それにともない、認知症の人も増加傾向にあり、このままでは2025年に認知症の高齢者は300万人を超えると予測されています。

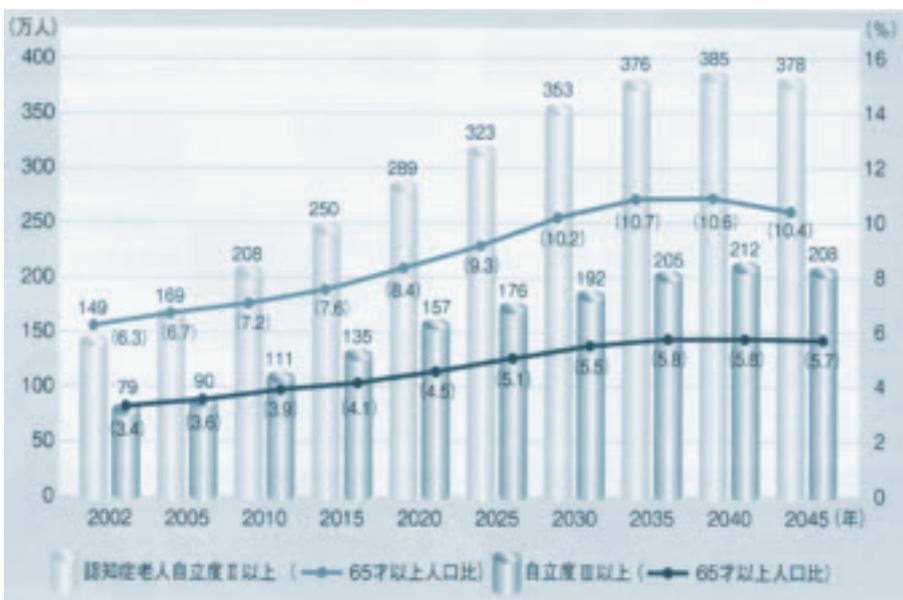
■認知症になる原因

認知症になるいちばんの要因としてあげられるのは、「年をとること」です。85歳以上の高齢者の4人に1人が認知症にかかるともいわれており、認知症は今やとても身近な病気といえます。

しかし、年をとったからといってこわがったり、あきらめたりする必要はありません。正しい知識をもって対応し、QOL（生活の質）の低下を防ぐことは可能です。大切なのは、日々の「生活習慣での予防」と「早期発見・早期治療」です。



■認知症高齢者の将来推計



- カッコ内は65歳以上人口比 (%)
- 2002年9月について推計した「要介護（要支援）認定者における痴呆性高齢者」と「日本の将来推計人口(2002年1月推計)」から算出。
- 自立度Ⅱ：日常生活に支障をきたすような症状・行動や意志疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。
- 自立度Ⅲ：日常生活に支障をきたすような症状・行動や意志疎通の困難さがときどきみられ、介護を必要とする。

資料：厚生労働省老人保健福祉法制研究会編『2015年の高齢者介護』（2003年）より

5月号は、認知症の予防法を紹介します。